

世界寺子屋運動書きそんじハガキキャンペーンツール等の使用について (お願い)

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟
理事長 鈴木 佑司

いつも当連盟の事業にご理解・協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、近年各地で、独自の国際協力プロジェクトへの募金活動を実施していらっしゃるユネスコ協会・クラブが増えてきております。そのなかで、連盟作成の「書きそんじハガキキャンペーン」のツール（ポスター・チラシ・募金箱）を使用して、各協会独自事業への募金・寄付募集行為を行っているケースがあるとの、ご連絡を受けました。

昨今非営利組織の行動に倫理的規範を求める声が強くなっているなか、書きそんじハガキを含め、ご寄付を集めていただく際には、求めに応じて寄付者にきちんとした説明を行う責任が生じます。

各協会の皆さまにおかれましては、上記に十分ご留意いただき、独自協力事業を行われる場合には、寄付をされる皆さまが誤解されない様、独自のツール類を作成・使用され、使途を明確にしてくださいよう、ぜひともお願い申し上げます。

また、集まった募金を、日ユ協連事業と自協会の独自事業とで折半等をする場合も、募金者にその旨を周知・徹底し、誤解が生じないようにあらかじめご了解いただくよう、お願いいたします。

本件で何かご質問などがありましたら、事務局担当（関口・鴨志田・宍戸）までご連絡いただきますようお願いいたします。